

授業概要

プラットフォームと言われるのは、略称で GAFAM と呼ばれる Google, Amazon, Facebook, Apple, Microsoft の米国系企業である。それぞれ情報技術を使った特色のあるビジネスにより、その影響力は大きく、プラットフォームを形成していることから、これらの企業のビジネスモデルをプラットフォームビジネスと呼んでいる。こうしたプラットフォームと言われるようになったのは、最近の話であり、共通点は、ITC（情報通信技術）を駆使して競争力のあるサービスを提供している。これらを学び日本経済にも影響があり、その良さを学ぶことは、意義にあることと考える。

授業計画

第 1 回	プラットフォームの意味と概要
第 2 回	プラットフォームの種類と主なプラットフォームの説明
第 3 回	プラットフォームの活用と課題
第 4 回	GAFAM の説明
第 5 回	AMAZON の分析
第 6 回	APPLE の分析
第 7 回	Google の分析
第 8 回	Facebook の分析
第 9 回	MICROSOFT の分析
第 10 回	GAFAM のビジネスー1
第 11 回	GAFAM のビジネスー2
第 12 回	金融システムとプラットフォーム
第 13 回	世界のプラットフォームと日本の取り組み
第 14 回	これまでの学習内容のまとめ
第 15 回	テスト範囲の復習
第 16 回	テストの実施

到達目標

プラットフォームビジネスを十分に理解し、日本の企業と比較してその強さと問題点を把握することを到達目標とする。

履修上の注意

GAFAM について興味を持ち調べてみることを。

予習・復習

事前に予習を行う。
授業後に復習や課題、レポートを提出すること。

評価方法

授業中のレポート提出とテストで評価する。具体的には、
学期末試験 70%、授業内レポート 20%、受講態度 10%

テキスト

別途指示します。